

OCAMI Reports format 使用方法

(2021 年 4 月 22 日 版)

1 OCAMI Reports format について

▶ OCAMI Reports には次の 2 種類のフォーマットがあります：

- `OCAMI-Reports-format_PDFLatex`（：PDFLatex 版. 英語入力のみ対応）
- `OCAMI-Reports-format_LuaLatex`（：LuaLatex 版. 日本語・英語入力に両対応）

用途に合わせてフォーマットをお選びください。

▶ 各フォーマットは以下の 3 つのファイルから構成されています。

1. `OCAMI-Reports-format.sty` (スタイルファイル)
2. `main.tex` (研究組織者用 TeX ファイル)
3. `abstract.tex` (各研究発表者用 TeX ファイル)

2 の `main.tex` をコンパイルするためには 1 のスタイルファイルを必要とします。

3 の `abstract.tex` をコンパイルするために 1 と 2 の両方を必要とします。

尚、講演スライドを出力するためのフォーマット `slide_export` を同梱しております。必要に応じてご利用ください。（詳細はセクション 2.2.2 をご覧ください。）

2 研究組織者による報告集作成手順

OCAMI Reports 作成要領を参照のうえ、以下の手順で、報告集 (OCAMI Reports) を作成してください。

2.1 必須事項の入力

`main.tex` に必須事項を入力する。

- ▶ 研究計画/研究集会のタイトルと、ヘッダーに表示する (短い) タイトル

```
\newcommand{\titleofRP}{Title of Research Project}
```

```
\newcommand{\shorttitleofRP}{Short Title of Research Project}
```

赤字部分を、該当する研究計画/研究集会のタイトルの英語名称に書き換えてください。

- ▶ The names, addresses, and the period of the Research Project
 - ▶ Abstract for the Research Project
 - ▶ Mathematics Subject Classification (2020), Keywords and phrases
 - ▶ Preface
- ▷ OCAMI Reports の Vol. 番号と DOI は、OCAMI のほうで割りふりますので、そのままにしておいてください。

2.2 本体部分 (自由様式)

▷ 報告書の本体 (中身) 部分の形式は、研究組織者が自由に作成してください。OCAMI Reports format を利用しなくても構いません。

2.2.1 OCAMI Reports format を利用して、各研究発表者にアブストラクト等の TeX 原稿を作成してもらう場合

1) 各研究発表者に 3 つの format ファイル一式を送り、`abstract.tex` を用いて原稿を作成してもらってください。(`abstract.tex` をコンパイルするのに、`OCAMI-Reports-format.sty` と `main.tex` が必要。)

▷ `abstract.tex` は、(各研究発表者あるいは研究組織者が) ファイル名を変更して構いません。ただし、拡張子は `.tex` から変更しないでください。

2) 各研究発表者から提出された TeX ファイルを以下の手順で、`main.tex` ファイルの末尾に追加する。

(`main.tex` の中の) 以下の 2 行を各 TeX ファイルごとにコピペして、赤字の部分を取り込みたい TeX のファイル名に書き換える。

```
\subfile{File-name}
```

```
\newpage
```

- ▷ 赤字のファイル名欄には、拡張子 (`.tex`) を省略したものを入力してください。
- ▷ 提出されたファイル名が重複した場合は、研究組織者が適宜名前を変更してください。
- ▷ `abstract.tex` のプリアンブル部分に

```
\addauthorstolist{Author name(s)}
```

```
\addtitletolist{Title}
```

という、本体の目次 (Table of Contents) に記載されるデータを入力する欄があります。赤字部分がきちんと書かれているかどうか確認してください。

3) `main.tex` を (数回) コンパイルして、一つの PDF(`main.pdf`) を作成する。

2.2.2 `main.tex` を利用して、講演スライド等の PDF を取り込む場合

講演スライド等の PDF を `main.tex` を用いてとりこんで、一つの PDF(`main.pdf`) にまとめることができます。

- ▷ A4 サイズで縦向きの PDF ファイルを用意してください。
- ▷ Beamer やプレゼン用のソフト等で作成した横長 (landscape) のスライドの場合は、事前に適当な手段で、縦に 2 枚のスライドが並ぶ形の PDF にしておいてください。同梱のファイル `slide_export` を用いて、そのような PDF を作成することができます。

▶ PDF 取り込み手順

1) (`main.tex` の中の) 以下の 4 行を各 PDF ファイルごとにコピペして、`main.tex` の末尾

```
\addauthorstolist{Author name(s)}  
  
\addtitletolist{Title}  
  
\appendpdf{xxx.pdf}  
  
\newpage
```

2) `main.tex` を (数回) コンパイルして、一つの PDF(`main.pdf`) を作成する。

main.tex へ abstract.tex をもとに作成した TeX ファイルを取り込むことと、PDF ファイルを取り込むことは混在させることができます。

```
\subfile{TeXfile1}

\newpage


\addauthorstolist{Author1 and Author2}

\addtitletolist{Title}

\appendpdf{xxx.pdf}

\newpage


\subfile{TeXfile2}

\newpage
```

4